

回覧

地域再生 協議会だより

百合が丘2-29-6 (老人憩いの家) 59-9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

春期イベント山越す

全16件、有料化の定着へ

再生協議会が春期に狙いを絞って準備していた講座・イベントが大きなヤマを越えた。この間の各事業部会の企画は3月・4件、4月・2件、5月・6件、6月・4件の合計16件。参加者も順調に増えており、かつてない盛り上がりとなった。こうりゅう塾や散策路部会はこの機に300円/人をめどに有料化に踏み切った。年度後半に向けて町中央部での開催、広報・PRの新展開など、もう一段の強化策を検討している。



そば打ち体験会

「みかん畑」コース散策

「語ろう クルマの未来」

3-6月・15件の内訳をみると、こうりゅう塾が7件と半分近くを占め、その他は散策ツアー・そば打ち4件など。個別企画では、公社部会の古民家コンサートには前半の里山散策に約40人、コンサートに約100人が集まった。会場に収容人員が40人程度のこうりゅう塾でも、毎回35-65人の参加者あった。5月末の「みかん畑コース」散策も募集人員を大幅に上回る40人超が集まった。交流部会や散策路部会は、「経費面での自立化の手掛かりは得られた」としている。
(裏面に続く)



7月20日(土)~ 23日(火)に決定

友情の山・山百合

4日間の連続公開

(左は広報掲示ポスター)

(表面からの続き)

その一環として考えているのがラディアンや町民センターでの講座開催。6月8日(土)の「AIは人間を超えるか？」はそのテーマの広がりからラディアンM2に会場を移した。また、10月に開催する白井英治氏の「わたしのバイオリン人生」(仮)は町民センター大ホールを予定している。広報戦略の強化についても、二宮ITクラブの協力を得て新展開を検討中だ。

歌声ダイニング 30回へー県公社部会

県住宅供給公社が、百合が丘商店街で開いている「歌声ダイニング」が今夏、30回を迎える。この企画は二宮団地の改修が始まったH28年にスタート。予約不要、どなたでも



もどうぞ——の呼びかけで毎月1回、途切れなく続いている。“定例イベント”としてすっかり定着し、もっと多くが入れる会場の確保なども検討されている。

5月末に開かれた第28回をのぞくと、参加者は30人。会場として初回から使ってきたコミュニティダイニングだけでは入りきれず、商店街の通路に椅子が持ち込まれた。

プロの奏者とボーカリストがリードし、童謡、フォーク、歌謡曲など10曲余りを歌う。1曲ごとその曲にかかわるエピソードを紹介し、参加者とのやり取りを織り込み、楽しい時間を過ごす。かつての歌声喫茶の雰囲気そのままだ。

かつての歌声喫茶の雰囲気そのままだ。

県公社は住民同士の交流の場、商店街の賑わいづくりをねらいにこの企画を始めた。参加者のほとんどは近隣の住民。女性の数が多いが、中には夫婦での参加も2組ほどいた。「友人と誘い合ってきた。ここで新しい友達もできたよ」「2、3割は毎回参加する人。大切な気分転換の時間になっている」などの声が聞かれた。

7月末までの講座・催し

- ・6/8(土) 渡邊 恒文氏(NEDO AIプロジェクトマネジャー) ラディアンM2
「AIは人間を超えるか？」 参加費300円(資料代など)
- ・6/30(日) 野澤 千絵東洋大学理工学部教授 「家が老いても衰えない街へ」
百合が丘児童館 13:30~15:30 無料
- ・7/13(土) 門脇義昭・葛川をきれいにする会代表ほか
「親しめる水辺に！ 葛川をきれいにする活動」
一色小・地域こうりゅうルーム 10:00~ 参加費300円(資料代など)
- ・7/21(日) 富田 裕明氏(神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所次長)
「神奈川県花<ヤマユリ>の全てを語る」 場所など同上
- ・7/28(日) 空き家シンポ 「売買相場を知り、地域価値を上げよう！」
——二宮北部の土地・建物の相場動向を踏まえて
宮戸淳氏(太平洋不動産店長)、四家俊英氏(不動産鑑定士)ほか
百合が丘児童館 13:30~15:30 無料